

ふるみや
白山市古宮遺跡 発掘調査現地説明会のご案内

公益財団法人 石川県埋蔵文化財センター

日 時 平成 30 年 10 月 27 日 (土)

午前 11 時からおよび午後 2 時から (参加無料、小雨実施)

(各回とも現地見学・説明と出土品展示で 45 分間程度予定)

場 所 古宮遺跡発掘調査現場 (白山市白山町地内、下図参照)

遺跡の概要 手取川の右岸に面した古宮遺跡は、廃線となった旧加賀一の宮駅付近に広がる平安時代から中世にかけての遺跡です。一帯には 1480(文明 12) 年まで白山宮(白山比咩神社の前身) が所在していたとされます。

今回の一般県道手取川自転車道線事業に伴う発掘調査では、平安時代から室町時代の遺構面を最大 4 面確認しました。現在、第 1 面(室町～戦国期)の調査が終了し、第 2 面(鎌倉～室町期)と第 3 面(平安期)の発掘作業を実施中です。

調査では、礎石や石列、溝などの遺構を検出し、数多くのカワラケに加えて、中国製の青磁や白磁の碗・皿、瀬戸焼の製品、加賀焼や珠洲焼、越前焼のすり鉢や甕、砥石などの遺物が出土しています。

問 合 せ 先 ・古宮遺跡発掘調査事務所 080-2963-2329 (担当: ^{やすなか}安中)
・(公財)石川県埋蔵文化財センター 076-229-4477

備 考 現地では、周辺駐車場の台数に限りがあることから、なるべく公共交通機関をご利用のうえ、お越してください。



現場周辺拡大図

* 国土地理院の電子地形図(タイル)にキャプションを追記して掲載

